



◇ しばらくぶりのニュースレターとなりました。昨年後半より、ホームページのお知らせ欄を利用して研修会の様子について報告を掲載しています。ご覧いただけましたでしょうか。今後も様々な企画を検討中ですので、ぜひご参加ください。

■目次

- I. 2013年度 臨床発達心理士会東京支部 総会報告・活動計画・予算案
- II. 2012年度 臨床発達心理士会東京支部 活動報告・決算報告
- III. 2013年度 研修会報告
- IV. 2014年度 東京支部総会および第1回資格更新研修会・ネットワーク研修会のご案内
- V. 事務局より

I. 2013年度 臨床発達心理士会東京支部 報告

1. 総会報告

●日 時：2013年5月26日(日) 12:30~13:00

●場 所：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

司会の開会宣言の後、竹谷氏が議長として選出された。東事務局長より定足数の確認が行われ、参加者113名と委任状148名をあわせ、会員725名の4分の1の定足数を満たしたため、総会成立との旨の報告があった。

報告事項として黒田支部長より2012年度の活動について報告があった。その後、加藤会計より2012年度の決算が報告され、会計監査宇賀神氏より「相違ない」と監査報告がなされた。

次に、審議事項として、支部規約の改定および2013年度活動計画・予算案・会計監査選出について黒田支部長より説明がなされた。

議事終了後、議長の解任がなされ、閉会となった。

2. 活動計画

1. 総会の実施
2. 研修会・研究会の開催
3. 特別支援教育事業への協力
 - 1) 文京区巡回相談 対象校：小学校20校、中学校10校、巡回担当者20名
文京区特別支援教育専門家チームへの参加
 - 2) 都立特別支援学校への会員の推薦 対象校：8校、担当者15名
 - 3) 都立高等学校巡回相談 対象校：9校、巡回担当者8名
4. ネットワーク作り
 - ア) 特別支援教育ネットワーク
 - イ) 子育て・発達支援ネットワーク
 - ウ) 発達臨床研究ネットワーク
5. ニュースレターの発行年2回、HP上に掲載
6. ホームページの運営
7. 東日本大震災の災害支援
 - 1) 「災害・危機支援度別委員会」への参加・協力
 - 2) 他支部への災害支援活動への協力
8. 日本臨床発達心理士会への参加・協力

3. 予算案

【収入の部】

摘要		備考・内訳
2013年度支部会費	1,450,000	2,000円×725名(5/20現在)
巡回相談員現任者研修会参加費	40,000	(文京・特別支援学校)500×20名×3回 (都立高校) 500×10名×2回
巡回相談員養成研修参加費(講義)	125,000	5,000×25名
巡回相談員養成研修参加費(巡回同行)	30,000	3,000×10名
前年度繰越金	3,266,980	2012年度決算より
A:収入合計	4,911,980	

【支出の部】

摘要		備考・内訳	
研修会運営費	867,900	支部研修会(2回2講義)	会場費 60,000
			33,300 × 3 人 税込講師謝礼 99,900
			50,000 × 3 人 講師交通費・宿泊費 150,000
			運営費 30,000
		特別支援教育NW研修会(3回)	会場費 20,000
			33,300 × 3 人 税込講師謝礼 99,900
			2,000 × 3 人 講師交通費 6,000
			運営費 10,000
		子育て・発達支援NW研修会(2回)	会場費 20,000
			33,300 × 2 人 税込講師謝礼 66,600
			2,000 × 2 人 講師交通費 4,000
			運営費 10,000
		発達臨床研究NW(2回)	会場費 20,000
	33,300 × 2 人 税込講師謝礼 66,600		
	2,000 × 2 人 講師交通費 4,000		
	運営費 10,000		
文京区巡回相談現任者研修会(3回)	会場費 9,000		
	運営費 5,000		
高等学校巡回相談現任者研修会(2回)	会場費 6,000		
	運営費 3,000		
特別支援学校現任者研修会(3回)	会場費 9,000		
	運営費 5,000		
特別支援教育巡回相談員養成研修(講義・同行)	会場費 30,000		
	33,300 × 2 人 税込講師謝礼 66,600		
	3,330 × 10 人 税込講師謝礼 33,300		
	2,000 × 2 人 講師交通費 4,000		
	運営費 20,000		
東京ピエプロジェクト運営費 (災害対策支援費)	177,300	研修会(1回)	
		会場費 20,000	
		33,300 × 1 人 税込講師謝礼 33,300	
		2,000 × 2 人 講師交通費 4,000	
		運営費 20,000	
		その他(事務費、会議費、会員活動補助等)	
		100,000	
事務局運営費	1,020,000	PCソフト代・メンテナンス等	
		100,000	
		事務アルバイト代等	
		60,000 × 12 ヶ月	
		720,000	
		会計士顧問料	
		200,000	
HP運営費	350,000	業者委託費、運営・通信費等	
通信費	120,000	会員への研修案内(80×725×2)、事務書類発送等(80×50+α)	
印刷代	120,000	総会資料、役員会資料、研修会資料等	
会議費	90,000	役員交通費(2,000×15人×3回) 5回開催予定 研修会と同日に行う2回は交通費無し	
事務用品/備品	150,000	会計印、記録保存・整理用USB、ファイル等	
B:支出合計	2,895,200		
C:予備費	2,016,780	予備費、2014年度支部会費が納入されるまでの運営費	
D:残高	0		
総計	4,911,980		

II. 2012 年度 臨床発達心理士会東京支部 報告

1. 活動報告

1. 総会の実施

規定に基づき、2012年5月20日（日）日本大学（文理学部）にて総会を開催し、2012年度の活動計画と予算を決定した。

2. 第8回全国大会

2012年9月15日（土）～16日（日）、東京ビックサイトにて開催した。

参加者は、事前予約者474名、当日参加者511名、合計1036名であった。

3. 研修会・研究会の開催 <表1参照>

4. 特別支援教育事業関係

1) 文京区巡回相談

対象校：小学校20校、中学校10校 巡回担当者 16名

特別支援教育コーディネーター連絡会への参加

2) 都立特別支援学校への配置

対象校：3校

継続…永福学園350時間、青峰学園140時間、 担当者5名

新規…練馬特別支援学校350時間 担当者2名

3) 都立高等学校巡回相談

対象校：12校 巡回担当者名10名 配置時間330時間

継続…大江戸、六本木、世田谷泉、桐ヶ丘、稔ヶ丘、八王子拓真、浅草、新宿山吹、
蔵前工業、科学技術、五日市

新規…秋留台高等学校

5. ネットワーク作り

1) 特別支援教育ネットワーク

・特別支援教育に関わる教員を中心としたネットワークグループ

2) 子育て・発達支援ネットワーク

・乳幼児期の子育て支援、発達支援に関わる臨床発達心理士を中心としたネットワーク

3) 発達臨床研究ネットワーク

・発達臨床や発達臨床の基礎研究に関わる人、関心のある人を中心としたネットワーク

6. ニュースレターの発行とホームページの運営

ニュースレターをHP上で年2回発行し、会員にメールで配信した。

ホームページを運営し、支部の活動についての情報提供、研修会案内、ネットワーク活動のサポート、ニュースレターの閲覧などができるようにした。

7. 日本臨床発達心理会への参加・協力

日本臨床発達心理士会幹事会等に黒田美保が出席し、情報共有、発信、提案等を行った。

表1：2012年度研修内容一覧

研修会	日程
東京支部資格更新研修会（2回）	第1回 2012年5月20日（日） 第2回 2012年12月9日（日）
子育て・発達支援ネットワーク研修（2回）	第1回 2012年5月20日（日） 第2回 2012年2月2日（土）
特別支援教育ネットワーク研修（2回）	第1回 2012年5月20日（日） 第2回 2013年1月14日（祝）
発達臨床研究ネットワーク（2回）	第1回 2012年5月20日（日） 第2回 2012年12月9日（日）
文京区巡回相談研修会（2回） （担当者研修）	第1回 2012年6月20日（水） 第2回 2013年2月1日（金）
小・中・高等学校巡回相談員・特別支援学校 外部専門家養成研修会（1回）	第1回 2012年10月9日（日）

2. 決算報告

2012年度 日本臨床発達心理士会 東京支部 決算報告書

会計期間: 2012年4月1日～2013年3月31日
(単位: 円)

【収入の部】

項目	予算額	決算額	比較増減
1. 2012年度支部会費	1,426,000	1,466,000	-40,000
2. 巡回相談員養成研修参加費	40,000	184,000	-144,000
3. 支部研修参加費(NW研修受講費を含む)	0	13,000	-13,000
4. ゆうちょ銀行利子	0	474	-474
5. 大会運営費より返金	0	500,000	-500,000
6. 前年度繰越金	1,640,663	1,640,663	0
合計	3,106,663	3,804,137	-697,474

【支出の部】

1. 研修会 運営費	a. 支部研修会(2回3講義)	会場費	60,000	33,400	26,600
		講師謝礼	64,000	25,420	38,580
		運営費	30,000	15,292	14,708
	b. 特別支援教育NW研修会(2回)	会場費	20,000	0	20,000
		講師謝礼	64,000	680	63,320
		運営費	10,000	4,374	5,626
	c. 子育て・発達支援NW研修会(2回)	会場費	20,000	0	20,000
		講師謝礼	64,000	0	64,000
		運営費	10,000	318	9,682
	d. 発達臨床研究NW(2回)	会場費	20,000	0	20,000
		講師謝礼	128,000	32,000	96,000
		運営費	10,000	1,201	8,799
	e. 文京区巡回相談研修会(3回)	会場費	10,000	9,600	400
		運営費	5,000	480	4,520
	f. 特別支援学校・高等学校 巡回相談研修会(1回) 特別支援教育巡回相談員 養成研修(3回)	会場費	5,000	1,600	3,400
		運営費	3,000	300	2,700
		会場費	30,000	52,905	-22,905
	東京ピエロプロジェクト運営費 244000 (東日本大震災災害対策支援費)	講師謝礼	128,000	27,000	101,000
運営費		20,000	48,785	-28,785	
会場費		20,000	0	20,000	
講師謝礼		60,000	0	60,000	
講師謝礼交通費		44,000	0	44,000	
2. 事務局運営費 460000	運営費	20,000	500	19,500	
	その他	100,000	0	100,000	
3. HP運営費	PCソフト代	100,000	0	100,000	
	事務アルバイト代	360,000	21,000	339,000	
5. 通信費		350,000	134,295	215,705	
6. 印刷代		120,000	70,354	49,646	
7. 会議費		120,000	1,150	118,850	
8. 事務用品/備品		90,000	33,465	56,535	
9. 全国大会アルバイト費(全国大会運営費の補てん)		150,000	9,038	140,962	
10. 2009年度支部費返金(二重払い)		650,000	0	650,000	
支出合計		0	14,000	-14,000	
11. 予備費		2,885,000	537,157	2,347,843	
総計		221,663	0	221,663	
		3,106,663	537,157	2,569,506	

差引残高 3,266,980 円は2013年度東京支部への繰り越し金といたします。

以上、ご報告いたします。

2013年5月26日

日本臨床発達心理士会東京支部
支部長 黒田美保
事務局長 東 敦子

III. 2013年度 研修会報告

1. 第1回文京区小・中学校巡回相談研修会

- ・日時：2013年4月14日
- ・会場：文京区役所 区民会議室
- ・テーマ：文京区の小中学校における特別支援教育／臨床発達心理士としての取り組み
- ・講師：松村裕美氏
- ・参加者数：15名
- ・研修要旨：文京区教育委員会の特別支援教育に関わる体制、専門家チームと巡回相談の違い、教育相談センターとの連携、特別支援教室専門指導員、特別支援教育支援員、スクールカウンセラーとの連携、固定学級と通常学級の交流及び共同学習について、巡回相談に、学校側が期待していること、臨床発達心理士として巡回相談をする際の心構えなどについて学んだ。

2. 第1回資格更新研修会

- ・日時：2013年5月26日
- ・会場：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場
- ・テーマ：「いじめ・不登校の経験者が子どもたちを支える」～ 多様化するいじめへの対応とこれからの支援の在り方 ～
- ・講師：宮川正文氏（掲示板ばれっと管理人 元富山大学講師）
戸田有一氏（大阪教育大学教授）
- ・参加者数：144名
- ・研修要旨：宮川氏からはいじめや不登校に悩む若者の居場所づくりを通して、教育現場における不登校児者への不利益について、戸田氏からは、いじめに関する国内外の最新情報を紹介していただきながら、これからの支援の在り方を考えた。

3. 第1回各ネットワーク研修会

- ・日時：2013年5月26日
- ・会場：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場
- ◇発達臨床研究ネットワーク
 - ・テーマ：「児童養護施設における発達障害のある児童への支援」
 - ・講師：藤岡孝雄氏（児童養護施設 東京都石神井学園）
 - ・参加者数：22名
 - ・研修要旨：児童養護施設に入所している発達障害の児童の支援事例について、関係機関との連携のあり方に焦点を当てて発表して頂いた。
- ◇子育て・発達支援ネットワーク
 - ・テーマ：「特別支援学校における学齢前の支援」
 - ・講師：高橋幸子氏（筑波大付属大塚特別支援学校）
 - ・参加者数：35名
 - ・研修要旨：①特別なニーズのある幼児への指導・支援機能の拡大、②施設設備等の提供機能、③小・中学校等の教員への支援機能、保育者向け公開研修の実施に関する話題を提供して頂いた。
- ◇特別支援教育ネットワーク
 - ・講師：片岡聡氏（NPO 法人「東京都自閉症協会」役員）
 - ・研修要旨：ご自身の経験をもとに発達障害者が抱える困難および周囲や社会の理解と支援のあり方について話して頂いた。

4. 第2回特別支援教育ネットワーク研修会

- ・日時：2013年8月25日
- ・会場：LMJ東京研修センター
- ・テーマ：「心理検査 WISC-IVの概要と演習（初級）」

- ・講師：宇賀神るり子氏 / 松村裕美氏
 - ・参加者数：29名
 - ・研修要旨：学校現場では実際に検査を実施する機会が少ないため、WISC-Ⅲの検査結果及び行動観察等によるデータを元に事例検討を行い、よりよい支援のあり方を探った。
- 5. 第2回文京区小・中学校巡回相談研修会**
- ・日時：2013年8月25日
 - ・会場：文京区役所 区民会議室
 - ・テーマ：文京区の小中学校における特別支援教育／臨床発達心理士としての取り組み
 - ・講師：松村裕美氏
 - ・参加者数：9名
 - ・研修要旨：各小中学校での現状の報告と対応について、参加者が相互に意見を交換し、臨床発達心理士としての巡回相談の方法を学んだ。
- 6. 小・中・高等学校巡回相談員・特別支援学校外部専門家養成研修**
- ・日時：2013年10月14日
 - ・会場：株式会社LMJ東京研修センター 4階中会議室
 - ・テーマ：小・中・高等学校巡回相談員・特別支援学校外部専門家養成研修
 - ・講師：森下由規子氏／田中秀雄氏／月本由紀子氏／松村裕美氏
 - ・参加者数：12名
 - ・研修要旨：平成26年度より、新たに巡回相談員・外部専門家をお願いする会員を養成するための研修会を実施した。
- 7. 第2回資格更新研修会・第2回子育て・発達支援ネットワーク研修会**
- ・日時：2013年11月10日
 - ・会場：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場
 - ・テーマ：「自閉症スペクトラムの早期発見と早期療育について」
 - ・講師：服巻智子氏（大阪大学大学院 等 連合小児発達学研究所 招聘教員）
 - ・参加者数：117名
 - ・研修要旨：午前中は「佐賀県モデルに見る自閉症スペクトラムの支援制度構築と早期発見早期療育システム化の課題」と題して講義が行われた。午後からは「自閉症スペクトラムの1歳での発見と療育・親支援のあり方」と題して、映像や実際の記録用紙を使いながらアーリースターターデンバーモデルの考え方や効果についての講義があった。
- 8. 第2回発達臨床研究ネットワーク研修会**
- ・日時：2013年12月22日
 - ・会場：お茶の水女子大学共通講義棟1号館301号室
 - ・テーマ：「虐待の基本的理解と対応について」
 - ・講師：打越雅祥氏（和光大学非常勤講師）／大谷洋子氏（横浜市西部児童相談所—保護係）
 - ・参加者数：70名
 - ・研修要旨：打越氏より、児童虐待における法制度、相談の流れについての説明の後に、性的虐待の対応を中心とした講義があった。大谷氏からは、一時保護所の厳しい現状の説明の後、器質と環境が複雑に作用している発達障害群の子どもたち（特に性加害の子ども）への発達支援の方法の発表があった。
- 9. 第3回特別支援教育ネットワーク研修会**
- ・日時：2014年1月13日
 - ・会場：東京都立中野特別支援学校 会議室
 - ・テーマ：「インシデントプロセスを使った事例検討会」
 - ・講師：助言者・宇賀神るり子氏（調布市子ども発達センター）

事例提供者・松村裕美氏（両国発達支援センター）

- ・参加者数：20名
- ・研修要旨：「インシデントプロセス法」を活用して質疑応答、グループ討議を行い、個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成する中で具体的な支援策について話し合った。

10. 第3回巡回相談研修会

- ・日時：2014年3月2日
- ・会場：文京区役所 区民会議室
- ・テーマ：各学校における特別支援教育／臨床発達心理士としての取り組み
- ・講師：松村裕美氏、森下由規子氏
- ・参加者数：都立高校：5名／文京区小中学校：12名／特別支援学校：8名
- ・研修要旨：各学校での現状の報告と対応について、参加者が相互に意見を交換し、臨床発達心理士としての巡回相談の方法を学んだ。

IV. 2014年度 東京支部総会および第1回資格更新研修会・ネットワーク研修会のご案内

下記の要領にて開催いたします。詳細は後日ホームページに掲載しますのでご確認ください。

●日時：2014年6月22日(日)

- ① 9:30～12:30 東京支部主催 第1回資格更新研修会
- ② 12:30～13:00 2014年度 東京支部総会
- ③ 14:00～15:30 ネットワーク研修会（3部門同時開催）

●場所：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

※最寄り駅 京王線 下高井戸駅 または 桜上水駅 徒歩8分

V. 事務局より

1. 資格更新ポイントの新管理システム導入について

臨床発達心理士会会員管理システムが2014年4月1日より導入されます。それに伴い、資格更新研修会における資格更新ポイントの新管理システムが漸次段階的に導入されます。

- ・送付されているバーコードシールをIDカードに貼り付けてください。
- ・資格更新研修会に参加時には、バーコードシールを貼付したIDカードを持参してください。
- ・受付にてバーコード読み取り機にIDカードをかざしてください。
- ・取得した研修ポイントは自動的に加算され新システムで管理されます。

2. ニュースレターの廃止について

これまで配信してきましたニュースレターですが、運営側の負荷軽減と即時性を高める目的で、ホームページ上での配信の形式に切り換えてまいります。ニュースレター形式でのお知らせは、今号をもって廃止とさせていただきますので、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

3. ネットワークメンバーへの参加登録について

ネットワークメンバーは、メーリングリストを使って、研修会の準備や情報交換などを行っています（研修会の参加はメンバー登録をしていなくても可能です）。

メンバーは講師の話を受動的に聞くのではなく、自らの実践報告を積極的に発信していただきたいと思います。また、ネットワーク掲示板にて研修会や会員の活動の様子などを支部会員に向けて発信してください。

ご希望の方は事務局までご連絡ください（jimu@jocdp-tokyo.net）。

● 連絡先：東京支部事務局・東 敦子（のぞみ発達クリニック）jimu@jocdp-tokyo.net



東京支部ニュースレター2013年度2号(通巻18号) 2014.3発行

編集:小堀あゆみ(NL担当)